



浦底林道から伊野田の集落をのぞむ

【ミニミニ歴史 伊野田】

明治・大正頃は白保や宮良から通い農業をしていたが、マラリアのため人も通わぬ陸の孤島となる。戦後各地から土地を求めて伊野田の山野に点在していた人々により、昭和25年伊野田部落会を結成。翌26年国頭郡大宜味村から21戸95人が現在の一班に、27年には9戸56人が三班に入植し、開墾を開始したがマラリアやキット台風の襲来等により困難を極めた。しかし部落民の強い意思により着々と集落を整備、昭和35年には琉球政府から衛生モデル部落として表彰される。

他地区に先駆けていち早くパイン栽培に取り組んだり、養蚕を導入するなど農業に精を出した。純農村地帯で、現在では主にサトウキビ、葉タバコ・サト芋を栽培。

現在の人口は、59世帯196名。

1993年 4月号
No.261号

(平成5年3月31日発行)

人口と世帯数

総人口……42,634 (+50)
男……21,401 (+23)
女……21,233 (+27)
世帯数……14,504 (+5)

平成5年2月末現在()は対前月比



半嶺市長

平成5年度

施政方針を述べる

市議会定例会で半嶺市長が平成五年度の施政方針を述べました全文は次のとおりです

市政運営の基本理念

- 一、開かれた市政の確立
- 一、全島の均衡ある発展
- 一、女性の登用
- 一、行政の合理化

はじめに

本日ここに、平成五年度の予算案等のご審議をお願いするにあたり、市政運営の基本方針と主要施策についてご説明申し上げ、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

私は、市民皆様の温かいご支援のもと、平成二年三月、第十三代石垣市長に就任させて頂きましたが、以来、早や四年目を迎えることとなりま

した。ここに、これまで厚いご支援とご協力を賜りました国・県ご当局はもとより、議員各位並びに市民皆様のご厚情に対し衷心より感謝申し上げます次第であります。

特に、昨年は復帰二十周年と市制施行四十五周年という記念すべき年にあたり、市民皆様とともに、輝かしい歴史の節目を祝いつつ、記念の諸事業を遂行できましたことは、私のこのうえない喜びとするところであります。

さて、私は市民との「対話とふれあい」を大切に、これまで各地域で「市民と語る集い」を開催すると同時に、市民の声を幅広く聴取するため「市長への手紙」事業等を実施してまいりました。

直接市民皆様の生の声を聴き、市民皆様の郷土への強い愛着や、まちづくりへの期待の大きさに深く感銘いたしました。豊かなまちづくりの担い手は、まさに、市民お一人ひとりであり、政治の主人公は市民であることを改めて認識し、今後ともに「市民本位の行政」を強力にすすめてまいる決意であります。

私は、就任以来一貫して一、開かれた市政の確立一、全島の均衡ある発展一、女性の登用一、行政の合理化以上、四つの柱を掲げ、その達成に向け努めてまいりました。

本年度も同様、この目標を堅持し、市政を進めてまいり所存であります。

ところで、我々を取りまく昨今の経済環境は、バブル経済の崩壊により、全国的な景気低迷の中にあり、本市もその影響を受け、景気の浮揚が当面の最重要課題となっております。

従って、景気の早期回復を図るうえからも、本市の経済発展に大きな影響を及ぼす産業基盤並びに社会基盤の整備など、公共事業の拡大に最大の努力を傾注する所存であります。特に我々は、第三次沖繩振興開発計画期間中に、あるいはまた、高率補助の恩恵が受けられるこの期間に、全力を尽くして各種基盤の整備に努めてまいらなければなりません。

この時にあたり、市民の総

意と総力を結集して「活力あるまちづくり」を目指し、誠心誠意努力してまいりる所存であります。

さて、これまで多年にわたり、国・県をはじめ、あらゆる関係機関に要請してまいりました先島地区民放テレビが、いよいよ本年度から放映開始の運びとなりました。

情報化、国際化社会の今日、民放テレビ導入は、本市の文化の向上と活性化に裨益するところ、はかりしれないものがあると期待をしております。

また、昨年は特に、青少年

一、快適で魅力あるまちづくり

快適で魅力あるまちづくりは、都市基盤の整備が何よりも必要であります。

まず、交通体系の整備であります。安全で快適な道路網の整備が都市の機能を高め、ひいては地域活性化につながるものと考えます。

本年度は新規に於茂登・大里線を拡幅改良し、森林・ダム及びトンネル周辺の中部地区を観光コース、または市民

健全育成問題を最重要課題として取り組んでまいりましたが、本年も同様、非行防止活動に最善を尽くしてまいります。

一方、女性の地位向上につきましても、本年度からは新規に女性問題会議を発足させ、積極的に推進してまいります。

以上、市政運営について基本的な考え方を申し述べましたが、次に本市の平成五年度の主要施策とその概要について申し述べ、更に予算編成とその規模についてご説明申し上げます。

のレクリエーションコースとしての利用を図ります。

また、タナドー線については、市道シードー線を起点として、県道大浜富野線に結ぶ中部・東部地区集落への連絡網となる重要道路であり、通勤、通学、ジョギングコースまたは、県立八重山病院へ通ずる道路として利用度が高く、フルスト原遺跡公園と一体となった活用を考えております。

さらに崎枝線Ⅱ区は、崎枝線Ⅰ区の延長で、屋良部半島一周線として全面改良するもので、自然環境に配慮し、海岸線を活かした景観道路として整備いたします。

観音堂線については、観光施設及び海岸環境整備事業で観音崎燈台周辺の海浜整備とドッキングさせ、観光及び市民のレクリエーションコース、健康ジョギングコースとして利用できるよう整備いたします。

また、大嵩線については、生活道路および産業振興道路として整備を進めてまいります。なお、その他の生活道路についても引き続き、逐次整備いたします。

都市計画の整備については、石垣市中央運動公園を拡張し、すべてのスポーツが楽しめる、市民に親しまれるスポーツコミュニティの広場として、さらには市民の競技力の向上に資するため、市民待望の総合体育館をいよいよ本年度、着工いたします。

体育館の施設といたしましてはメインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室、武

道場の四ブロックに分け、アプローチゾーンを広く取り、光りの中庭、風の中庭など、外部空間を数多く設け、快適にスポーツが楽しめるよう創意工夫をいたしました。

また、体育館周辺には、多目的広場（サブグラウンド）、公園ゾーン、駐車場ゾーン、さらに弓道場や相撲場を設け、市民の憩いの場、あるいは健康増進の場としての活用を図ってまいります。

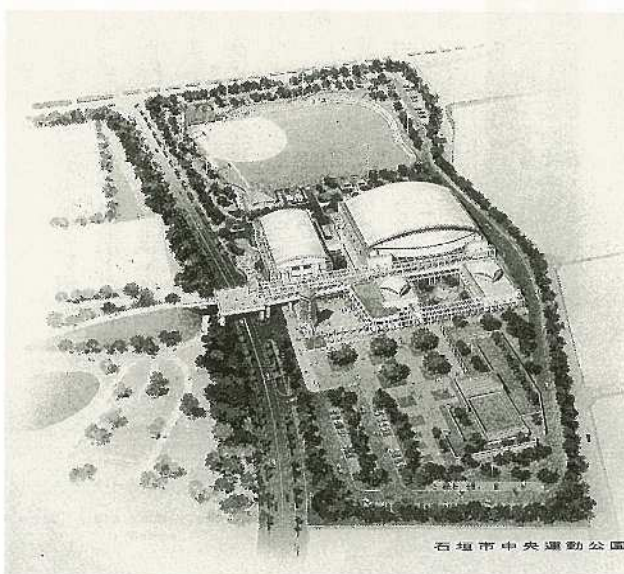
また、都市計画法の改正に伴い、本年度から用途地域見直し調整を実施してまいります。特に、大浜集落の全域を

都市計画法に基づく地域地区に定め、用途地域拡大の指定をし、秩序あるまちづくりにつとめます。

なお、都市施設として、都市計画街路、都市公園（近隣公園、児童公園）、都市下水路等を都市計画決定し、都市環境の向上と快適で魅力あるまちづくりを推進してまいります。

都市計画街路については、新規に市中央運動公園南通りを整備いたします。

さらに土地地区画整理事業については、登野城地区区画整理事業を継続実施し、都市基



石垣市中央運動公園鳥瞰図



盤の整備を急いでまいります。

港湾整備については、本市の港湾は日本最南端の重要港湾として国内外各地域との交易はもとより、八重山群島生活圏域の拠点港として極めて重要な役割を担っており、引き続きより一層の機能の充実と、市民のニーズに即した港湾整備を促進してまいります。

特に、本年度は八島町と沖合人工島を結ぶサザンゲートブリッジの開通と併わせて新規に沖合人工島に港湾関連交通の円滑な流動を確保するために臨港道路を着工すると

もに、緑地整備に着手いたします。

また、八重山地区における旅客流動及び物資流通の拠点として各地区の機能分担を図るため、継続して岸壁の整備を行うとともに、離島ふ頭小型船専用の浮桟橋を建設してまいります。

さらに、船舶の操船、荷役の安全、荒天時の船舶の安全を図るため、外かく施設、水域施設の整備拡充につとめてまいります。

海岸整備については、国土保全とあわせて海岸環境を整備し、もって安全で快適な海浜利用の増進に資するため、本年度も引き続き観音崎燈台周辺に遊歩道、休憩所、駐車場等の施設及び植栽による緑陰の整備を行い、「市民の憩いの場」を整備してまいります。

新石垣空港建設につきましては、昨年十一月二十六日、沖縄県は宮良牧中案を建設位置として発表いたしました。

しかしながら、本市といたしましては、宮良牧中案については、安全性、騒音、就航率、農業振興、赤土流出、将

来の拡張等々、多くの不安要素があり、将来を展望するにき到底、承服しかねるところであります。

従いまして、今後は、沖縄県とさらに話し合いを深め、八重山群島民の大多数の合意でもあり、かつ最も優れた建設位置であるカラ岳東案で、早期に建設していただくよう、その実現につとめてまいります。

二、心豊かな住みよいまちづくり

うるおいのある豊かな生活環境づくりと災害のない安心して暮らせる明るく住みよいまちづくりの実現をめざします。

まず、交通安全・防犯施設の整備については、中部・東部地区集落への連絡網としての機能をはじめ、通勤、通学、ジョギングコース、または、県立八重山病院に通ずる重要道路としてタナドー線を整備いたします。

また、道路照明灯や反射鏡など、交通安全施設についても継続して整備いたします。なお、防犯灯についても引き続き全島にバランスよく増

存であります。

なお、新石垣空港が実現されるまでの間、石垣—東京間の直行便の開設を強く要請してまいります。

次に、土地の有効利用を図るべく、先に自然環境保全条例、景観形成条例を策定いたしました。この条例を活かすべく、市民への啓発活動を図ってまいります。

設し、犯罪のない安全な明るいまちづくりにつとめます。

消防防災については、市民の生命及び財産を守るため、より一層の消防防災体制の充実強化につとめてまいります。

特に、本年度は、永年の懸案でありました川平分遣所の施設を整備いたします。

また、水難事故発生のため、防止に万全を期するため、小型消防艇を購入し、水上の安全確保につとめてまいります。

なお、平野、平得地区の防火水槽を整備するとともに、公設消火栓を新設いたします。水道については、清浄な水の供給を図り、市民に対する



公衆衛生の向上、生活環境の改善に寄与し、市民の健康と文化的、経済的活動を支える基盤づくりを推進してまいります。

本年度は計画水の確保に対処するため、送水管及び配水管の整備を行うと同時に、出水不良地域の解消につとめます。

また、一般住宅の郊外進出と都市計画街路事業及び道路改良事業に伴う水需要に対処するため、配水管の増補改良を行い、より一層の市民サービスにつとめてまいります。

一方、簡易水道の整備については、本年度で水道事業経営認可申請を行い、平成六年度の事業着工に向けて鋭意つとめてまいります。

近年、経済活動や消費生活に伴う廃棄物の多様化や量的増大の中で、環境保全への関心が高まりつつあります。

よって、本年度は昨年度に引き続き、廃棄物の減量及び再資源化に積極的に取り組むとともに、生ゴミ処理器の普及補助も継続して実施してまいります。

ゴミ焼却施設の建設については、平成六年度着工に向けて条件整備を推進し、本年度は建設用地の取得及び用地調査測量に着手いたします。さらに、赤土汚染対策については、石垣市赤土等流出防止対策協議会の機能充実を図るとともに、本年度は本市の自然環境を充分考慮し、赤土流出防止対策基本方針を策定し、汚染防止に最善を尽くしてまいります。

とりわけ、最近、省エネ時代と言われている折、本市においても地域特性を最大限に活かして、太陽エネルギー等

をはじめ、エネルギー問題について調査研究を実施してまいります。

公共下水道については、いよいよ本年度から市街地区域において事業を着手してまいります。

本事業は長期にわたるもので、街づくりの核をなす一大事業であります。

幸い、昨今の自然環境や住環境に対する市民の意識は高いものがあり、それらのニーズに応えるためにも、市民のご理解とご協力を得ながら、この大事業に鋭意取り組んでまいります。

なお、第一期事業認可区域といたしまして、市街地の低地（埋立地）等から推進してまいります。

石垣市特定環境保全公共下水道（川平地区）については、川平浄化センターが本年度で完成の運びとなり、いよいよ平成六年四月から供用開始となります。

本事業は川平地区住民はもとより全市民にとっても待望の施設であり、川平地区の生活環境並びに川平湾の水質保全に大きく貢献できるものと

思っています。

環境美化については、市民と行政が一体となって本年も引き続き、花いっぱい運動を展開してまいります。

また、ふるさと創生事業の

三、幸せと生きがいのあるまちづくり

すべての市民が健康で豊かな心と生きがいを持ち、幸せな生活を営むために福祉施策の一層の充実が求められております。

そのためには市民一人ひとりが相互扶助の精神を基本に、それぞれの立場で役割を分担

一環として実施しております。ピバーズによる壁面緑化を推進し、各家庭の壁面を緑で被い、花いっぱい運動と協調して、「花と緑のアイランド」づくりをめざします。

しつと、幅広い福祉活動を展開して幸せと生きがいのあるまちづくりを目指してまいります。

まず、市民及び福祉団体の活動の拠点的役割を担う福祉センターの建設については、その必要性を重視し、昨年来、

鋭意取り組んでまいりましたが、計画的に推進してまいります。また、石垣市地域福祉基金の果実を地域福祉団体に補助運用することにより、地域福祉活動の活性化を図ってまいります。

次に、老人福祉については、高齢化社会の進展に対応するため本市では、高齢者の長寿を祝し、高齢者の福祉と生きがいの増進に寄与する趣旨をもって毎年敬老年金を支給してありますが、本年度からは敬老祝い金と改め、その額も増額することといたしました。

これにより、お年寄りに対する敬愛の思想をなお一層高揚させることができれば幸いです。

さて、「老人保健福祉計画」が各自治体に義務づけられておりますが、本年度は計画を策定し、平成六年度を初年度として、実践行動に移行する方針であります。

特に、待機要介護老人の対策として老人保健施設の建設推進、並びに既存老人ホームの増床にむけ取り組んでまいります。

なお、お年寄り達が日帰り



で入浴・食事のサービス・日常動作訓練・健康チェックなどのデイ・サービス事業を継続実施するとともに、より一層の充実を図ってまいります。

また、児童福祉については、児童をとりまく環境が、健全育成にとって重要な要素でありますので、本年度は家庭・学校・地域が一体となって、ネットワークシステムづくりを追求しながら、地域の拠点としての児童福祉施設建設へ向けて鋭意努力してまいります。

身体障害者福祉については、本年は「沖縄県身体障害者スポーツ大会」が本市で開催されることになっており、スポーツを通して身体障害者の体力



の向上と地域の交流を図り、もって社会参加の機会を積極的に支援してまいります。

また更生援護事業を継続実施し、更生医療、補装具、施設措置費・筋ジス更生訓練費等を国と市で助成し福祉の向上を図ってまいります。

母子福祉については、保健事業と併せて、自立更生のための諸制度の普及と活用を図るとともに、母子世帯実態調査を実施し、今後の施策を推進してまいります。

一方、市民の健康の確保は、健康都市の実現の観点から重要な意義をもつものであります。

本年度も引き続き、母子保健事業や住民基本検診、老人

保健事業、婦人の健康づくり、へき地巡回診療、救急診療業務、各種予防接種など、市民生活に密着した保健業務の強化を図るとともに、大きな社会的問題となっておりますエイズ・がん・糖尿病の早期発見に努め、その防止を図ってまいります。

また、市民の健康づくりのための健康相談、健康教育、健康診査等を総合的に行う保

健センター建設に向けて強力に取り組んでまいります。

本年度は、福祉のまちづくりを目指し、福祉環境整備要綱の制定に向け、検討委員会を設置し、調査を進めてまいります。

また、市民の健康と福祉の増進を図るため、本年度も「石垣市健康福祉まつり」を継続実施してまいります。

四、活力にみちた産業のまちづくり

地域特性を活かした活力ある産業の育成を図り、市民の暮らしを守り、豊かな生活が営める産業のまちづくりをめざします。

本年度も各種産業基盤整備等、産業振興策を積極的に推進し、調和のとれた諸施策を強力に展開してまいります。

農業

農業については、農畜産物の自由化、米価問題や生産農家の高齢化及び担い手の問題など、内外ともに厳しい状況下にあります。

このため、農業生産基盤を

整備し、農業構造の改善を図り、生産性の高い安定した農業経営を促進してまいります。

また、地域特性を活かした亜熱帯農業の振興を積極的に推進し、足腰の強い活力と魅力ある農業の実現をめざします。

特に、農業生産基盤については、農村地域の農業生産基盤並びに農村環境基盤整備の推進、及び活性化を図るため、本年度も農村総合整備モデル事業を継続して推進してまいります。

また、地域の農産物を鳥獣害から守るため、引き続き猪



垣の施設整備を実施してまいります。

さらに、底原ダム周辺の水辺空間を利用し「多目的緑地公園」を継続して整備するとともに、底原ダム水辺周辺の「管理道」も併せて整備いたします。

農道基盤整備事業については、快適な農業経営が図られるよう農業交通網の整備を促進してまいります。

本年度は名蔵農道ほか五路線を新規採択し、併せて野原農道ほか七路線も継続して整備いたします。

緊急畑地総合整備事業については、新川野呂水地区を新規採択し、ほ場排水施設の改修をいたします。また、継続

事業も併せて整備してまいります。

かんがい排水事業、防災事業についても継続して実施してまいります。

また、土地改良事業に伴う農家負担については、県営、団体営事業に係る農家負担分の一部については昨年度から市が助成しているところであるが、国営宮良川農業水利事業の完工に伴い、本年度から国営事業に対する地元農家の負担額五パーセントについても市が全額助成して農家負担の軽減を図ってまいります。

なお、今後とも積極的に農業基盤整備の推進を図ってまいります。

農業の基本である土づくりについては、本年度も土づくり奨励事業を実施し、地力の維持増進と反収の増加を図るため堆肥購入補助、緑肥購入補助を実施してまいります。

さとうきびは本市農業における基幹作目であり、土地利用型農業において不可欠な作物であります。

よって、本年度は新規に沖縄県農業構造改善緊急確立モデル事業を導入し、その振興

を図ってまいります。本事業はさとうきびの価格の低迷と高齢化による労力不足を緩和するための振興施策で、大型ハーベスター、中型ワンマン式グリーンハーベスター及び格納庫の導入に対して助成し、生産農家の経営安定を図るとともに生産性の高揚を図るものであります。

また、パインアップルについては、さとうきびと同様、本市農業の基幹作目であり、本年度は植付奨励金を支給し、栽培技術の改良と生産体制の確立を図り、増産につとめてまいります。

なお、パインアップル産業の安定した振興を図るためにも加工業の育成強化を図りつ



つ、生食用パインアップルについても、生産を振興してまいります。

熱帯果樹については従来、果樹の阻害要因であったウリミバエがいよいよ今年十一月に根絶宣言が予定されており、明るい展望を担っております。

今後は、作付面積及び生産量の拡大を図るとともに生産物の出荷体制の強化を図ってまいります。

野菜振興対策については、インゲン、カボチャ、オクラ、スイカ等の野菜生産資材の購入補助をはじめ、サトイモの種苗購入助成を実施いたします。

熱帯花卉振興については、切花用栽培施設パイプハウスの資材購入補助を実施し、栽培技術の普及と生産組織の育成につとめるとともに、ランの優良種苗に対して購入補助を実施いたします。

なお、養蚕についても、継続して稚蚕購入費を補助してまいります。

本年度は新規に「農業女性活動促進対策事業」を実施し、女性の能力向上、労働力の改善、定期的休日の確保等、農

業問題についての女性の参画等を積極的に推進するために、推進協議会を設置し、環境改善方策行動計画を策定いたします。

なお、本年度も農業後継者就農促進事業を実施するとともに、資本集約型農業の振興による複合経営を確立するモデル地区の実現を推進し、活力あるまちづくりをめざします。

林業

林業については、「市民の森」設置計画に基づき、本市に生息する動植物及び木材製品等を一堂に展示し、一般市民及び青少年の学習の場として活用できる「林業総合センター」を建設し、併せて人生の節目を記念する記念の森の一環として、本年度は「成人の森」「結婚の森」を造成してまいります。

また、新規事業として野底林道を開設し、森林のもつ公益的機能に配慮しつつ、適切な森林整備を実施いたします。

なお、第二次、第三次森林総合整備事業も継続して実施し、森林の機能回復につとめ

ます。

畜産業

本市の畜産、とりわけ肉用牛については、粗飼料生産の有利性による低コスト生産により、牛肉自由化に対応しうる草地利用型の畜産経営として生産拡大をしていくことが有望であると期待されています。

従って、今後とも草地基盤を整備拡充するとともに経営体質の改善、生産コストの低減、肉用牛の品質向上対策、流通合理化等を強力に推進してまいります。

また、肉豚についても島内需給に見合った生産振興を図ってまいります。



牧野ダニ撲滅事業は昨年十月から、沖縄県が事業主体となつて実施しており、いよいよ平成五年十二月をめどに完全撲滅を期して事業が展開されております。

よつて、本市における牧野ダニ撲滅達成に向けて、昨年度に引き続き当該事業の協力的体制を強化し、事業の推進を図つてまいる所存であります。また、八重山家畜市場の完工に伴い、畜産振興を強力に推進してまいります。

水産業

水産業については、本年度は新規に漁場整備計画に伴う漁場環境調査及び基本設計に着手いたします。

本事業は、養殖漁業の拠点づくりの一環として、平成六年度からスタートする第四次沿岸漁場整備開発事業による魚類養殖場造成事業の導入に向けて実施するもので、増養殖漁業を中心とした漁業振興を図つてまいります。

また、本年度も継続して種苗供給施設を整備いたします。今後の漁業振興については、「つくり育てる漁業」をモッ



トーに増養殖を中心とした資源管理型漁業を積極的に推進し、経営の安定・向上に努めてまいります。

漁港整備では、伊野田、船越両漁港を局部改良事業により突堤、船揚場をはじめ、航路浚渫、航路標識等を整備し、機能の充実を図つてまいります。

なお、本年度も継続して、サメ駆除、浮魚礁、サワラ漬礁などの事業を推進するとともに、漁船近代化装備等の促進を図つてまいります。

商工業

商工業については、これまで本市小口資金融資の限度額の引き上げや、借入手続きの

簡素化を図ってきたところでありますが、本年度も引き続き小口資金融資制度の活用を図り、中小企業者の経営安定と経営体質改善の強化を図つてまいります。

また、商店街の活性化や近代化を図るために商業近代化対策事業を継続して導入し、市商工会をはじめ諸機関と連携を密にして商業サービス機能の充実強化を図り、魅力ある商店街の実現をめざします。

伝統工芸については、継続して織物、焼物、挽物など地場産業の育成につとめてまいります。

急速に進展する高齢化社会に対応する重要な施策として、引き続き「シルバー人材センター事業」を推進してまいります。

「流通センター」については、基本構想策定に伴い、アジアの流通経済の動向を見極めながら慎重に取り組み、地域産業のネットワークづくりを図つてまいります。

また、毎年、好評を博している離島フェアが本年度も実施されますので積極的に参

加し、物産販売の拡大と特産物の開発促進につとめます。公設市場につきましても、中央商店街の核として早急に有効活用を図つてまいります。



観光業

観光については、本市は亜熱帯海洋性気候とあわせて海洋型リゾート基地としての自然環境に恵まれています。

よつて、その特性を最大限に活かし、通年型観光地づくりをめざし、リゾート開発を積極的に推進してまいります。

観光客の入域も平成三年には四十万人台の万台を達成して、順調に推移し、本年も増加が予想されます。

従つて、今後とも、地域に

根ざした伝統文化、特産物等の資源を活用し、個性的な観光拠点づくりをめざしてまいります。

本年度は、石垣市観光施設整備基本計画に基づき、伊野田地区にコミュニティー広場を設置し、遊具、グラウンドゴルフ場、キャンプ場等の観光施設を整備いたします。

また、観光客の誘致と観光宣伝については、八重山広域圏とタイアップして積極的に進めるとともに、「大海洋祭マンタピア」「サントピア沖縄」をはじめ各種イベントを観光協会並びに業界と一体となつて開催し、観光業の振興に取り組んでまいります。



五、人間性豊かな市民文化の創造

近年、市民生活においては、物質的な豊かさよりも、心の豊かさ、心のゆとりを求め、自らを高めようとする人々の学習への志向が高まっております。また社会の変化や文化の発展に対応できる文化社会の実現が強く求められております。

このような認識のもとに、すべての市民が生涯を通して必要な学習が体験できる場をこれまで推進してまいりましたが、本年もさらに内容・質の充実につとめ、生涯学習の環境づくりの整備を進めるとともに、伝統文化の継承・振興・交流を柱として人間性豊

かな市民文化の醸成を図り、生き生きとしたまちづくりをめざします。

まず、学校教育では、教育環境の整備を引き続き促進するとともに、本年度は過大規模校である登野城小学校の分離適正化を図るため、八島小学校の校舎建設工事を竣工し、平成六年四月の開校をめざします。

次に、本市教育行政の最重要施策である児童生徒の学力問題については、過去四年間にわたって全小中学校を学力向上推進地区に指定し、学力向上につとめてまいりましたが、本年度も引き続き学力向上を図れるよう校区内発表会、生徒指導推進など学力向上の内容充実につとめてまいります。

また、学校週五日制がスタートし、本市においても児童生徒の毎月第二土曜日の過ごし方については抜本的な対策が必要であります。本年度は児童生徒の各種要望にこたえるべく学校週五日制の推進に伴

い指導員を配置して、その対応を図ってまいります。

次に青少年の健全育成については、地域社会の形成者の一員でもある青少年の健全な成長を願うためにも、市民が力をあわせ、青少年健全育成市民運動を活発に展開することが肝要であります。

本年度は、「青少年非行防止県民大会」を本市に誘致し、非行防止に対する理解と協力を求めるとともに、有害環境の浄化、街頭指導、広報活動を強化し、青少年の健全育成、特に非行防止活動を強力に推進してまいります。

また、本年度から女性の地位向上を図るため、女性問題会議を発足させ女性問題に関する諸施策を積極的に進めてまいります。

一方、社会教育については生涯学習の重要性に鑑み、市民の学習活動の一助となるよう「市民大学講座」や、「女性問題学習講座」を開催し、明るい地域社会づくりにつとめます。

さらに、青少年活動については、「いしがき児童合唱団」の育成を図るとともに、地域

における子ども会育成の推進、強化を図ってまいります。

また今後も、社会教育の充実発展を図るために「社会教育研究大会」と「民俗芸能振興大会」を隔年で開催いたします。

社会体育については、「市民大運動会」や各種スポーツ教室を継続実施により、市民の健康増進と連帯意識の高揚につとめてまいります。

市民文化については、「文化」は都市の「活力源」であるとともに、息づく都市の「表情」であります。

市民はもとより、今や全国的に知られている「アジア民族芸能祭いしがき」については、本年度はこれまでのテー

マ別開催をさらに深めていく形で実施し、あわせてアジア諸国の理解と交流に寄与するため、アジア研究者によるシンポジウムと各国の生活文化展を同時に開催いたします。

さらに、市民会館の自主事業では、老若男女を問わず楽しめる公演等を企画し、今後とも市民の日常的な文化活動を底辺から支え、その振興に寄与してまいります。

また、市民の生涯学習の場として利用されている市立図書館については、資料の充実を図り、市民へのきめ細かいサービスに努めるとともに学校図書館との連携を密にし、二十一世紀を展望しつつ青年の学力の向上の拠点づくりをめざします。

また、「ふるさと創生事業」の一環として、これまで数々の人材育成事業を推進してまいりましたが、本年度は「第二次ふるさとづくり」事業としてアジアに最も近い「日本最南端自然文化都市」の位置づけとして中国語と英語を併用した外国語会話講座を開設し、市民の学習意識の高揚を図ります。



市史編集事業では、引き続き民俗資料の調査を進めるとともに、本年度から「石垣市史・古文書資料編」を編集発行いたします。

また、郷土の歴史を身近かに体験し、市民の郷土に対する理解を深めてもらうため、市民を対象とした「史跡めぐり」を実施いたします。

博物館については、地域に根ざした博物館活動を進めてまいります。

また、教育普及活動の一環として「こども博物館教室」を充実し、学校教育との関連性を保つとともに、併せて青少年アドベンチャー事業、各種教室を継続開催し、郷土学習の機会を含めて児童文化の振興につとめてまいります。

次に文化財については、本年度は国、県、市指定文化財の改修及び整備事業を推進するとともに、本市指定文化財の収録、編纂を図り文化財の保存、活用の普及につとめてまいります。

また、石垣市名誉市民元早稲田大学総長大濱信泉生誕百年記念事業については、市民皆様の協力を得るとともに早

稲田大学校友会並びに沖繩稲門会等の協力を得ながら記念

館建設に向け強力に取り組んでまいります。

六、予算編成方針と予算規模

本市の財政事情は引き続き

厳しい財政環境にあることから、平成五年度予算編成にあたっては国、県の予算編成方針並びに地方財政計画等に留意しながら、従来にも増して、一般行政経費の節減合理化に努め、平成五年度の重点事業を踏まえ、施策・事業の厳しい選択を行うとともに、財源の重点的かつ効率的な配分を行うことを基本として編成いたしました。

以上の方針に基づいて編成した新年度予算は、一般会計

一九七億九、七八三万六千円

老人保健事業

一七億五、四三八万円

国民健康保険事業

二一億三、八一〇万九千円

簡易水道事業

三〇三万七千円

港湾事業

一〇億一、二九九万五千円

公有水面埋立事業

一二億四、七三二万二千元

上水道事業

一五億六、八三二万四千元

公設市場事業

二、九五〇万九千元

公共下水道事業

五億 六二六万一千元

総額

二八〇億五、七七六万三千元

となっており

なお、平成五年度一般会計予算は、八島小学校建設、市立総合体育館建設事業の着工により、前年度に比べ一五・六五%の伸びとなっております。

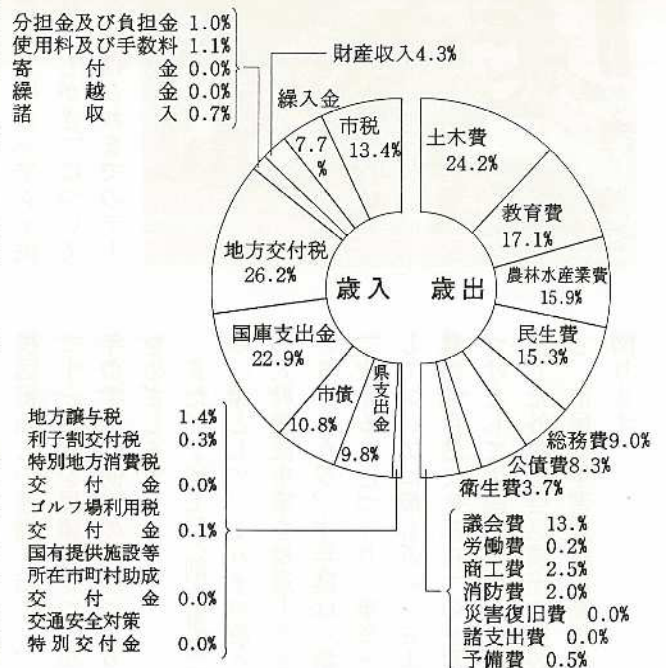
むすび

以上、平成五年度の市政運営に関する私の所信と主要施策の概要及び予算案の大綱についてご説明申し上げました。

なお、本定例会におきまして石垣市庁舎建設基金条例を提案いたしております。

新市庁舎の建設にあたりま

平成5年度一般会計予算



しては将来のまちづくりを基に市民の利便性と駐車場の確保が最大限発揮されますよう考慮し、建設目標年次を定め、積立をしております。

また、行政の合理化については、最小の経費で最大の効果をあげるべく努力してまいりました。

組織機構の改革をはじめ財政の健全化と行政の対応力を一層高めてまいりたいと存じます。

我々は今、二十一世紀を展望し、先人のたゆまぬ努力によって築かれたこの石垣市を一層発展させるべく、市民皆

様とともに相携え、市民誰もが幸せを実感できるまちづくりをめざし、全力を傾注してまいります。

なにとぞ、市民各位におかれては、今後共、市政に深いご理解を頂き、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、議員各位におかれては、提案いたしました予算案並びに諸案件について慎重なご審議を賜りますようお願い申し上げます。

平成五年三月十日
石垣市長 半嶺 當 泰

大島彦光さん
砥板京子さん

行政相談委員に委嘱される



大島彦光さん

住所 石垣市字登野城336

電話 2-3839



砥板京子さん

住所 石垣市字登野城336

電話 2-2126

総務庁では、国の仕事や国から委任を受けて県、市町村が行っている仕事についての苦情や意見・要望を受け付けるために、全国に行政相談（無償によるボランティア）を配置しています。

石垣市においては、市長の推薦を受けて、前年度に引き続き平成5年度も、大島彦光さんと砥板京子さんが総務庁長官から行政相談委員に委嘱（任期2年）されることになりました。

現在、毎月第3火曜日に市役所市民相談室で相談を受け付けていますが、市民相談室へ来られない方々については、自宅でも受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

行政相談についての詳しい問い合わせは、市役所企画室へ ☎3-9911（内線228）

全国の鉄人集合

トライアスロン大会

日本最南端の鉄人レースのトライアスロン大会が、三月十四日開催されました。石垣市の観光振興と地域の活性化を目的に年々定着し、今年も全国各地から六〇〇人余のアスリートが参加。水泳一・五km、自転車六十km、マラソン十kmという過酷なレース条件をものともせず、青い海と人情豊かな石垣島の人々の声援を受け、スポーツを通しての交流を深めました。

また、八重山の夏到来を上げるうるずん八重山の海びらきが、二十日底地ビーチで開催され、いよいよ暑く長い夏が始まろうとしています。



花と緑のまちづくり

プランターを各通りに設置

市民憲章推進協議会では、日本最南端の自然文化都市としての石垣市にふさわしい、花と緑にあふれた心豊かで新設なまちづくりのため、これまでフラワーロード計画に基づいて、市街地道路に花木の植栽を実施してきました。

平成四年度は、宝くじ助成事業であるコミュニティ事業を導入し、亜熱帯の気候風土と青い空、青い海にマッチした「花と緑のアイランド構想」を推進し、市民憲章の具現を図ることを目的に、市内目抜き通りにコンクリート製プランター八〇〇基を設置しました。設置にあたり長田紀良会



長が「丈夫なコンクリート製ですので長持ちします。是非通り会のみなさんで大切に、花と緑にあふれた石垣市にしてください」と花の苗を配付しました。

先島民放起工式

先島地区の住民が待望していた民放テレビ放送中継局建設工事の起工式が、三月十七日バナナ岳頂上のNHK石垣中継所隣接地で行われました。これまで、沖縄本島から遠隔地のため民間放送の地上波が届かず、情報の格差が

生じていた。建設工事は総事業費三十一億八三四万円円で、石垣局、川平局、西表祖納局、与那国局、与那国内道局の五局を設置、今年の十二月二十五日から放送が開始されます。

市民の

ひらば

資源ゴミ収集

四月十八日

市民の間にも定着しつつあるゴミ・リサイクル運動、三月からは石垣市全域を対象に資源ゴミの収集が始まりました。毎月第三日曜日、各地域の決められた場所へ資源ゴミを持ち寄って下さい。

限りある資源を大切に、有効に活用していきましよう。詳しくは市環境衛生課

二一九九一一(内三一一)

行政相談

四月二十日

午前九時～正午

毎月第三火曜日、市役所市民相談室で行政相談を行っています。行政相談委員が対応します。お気軽にご相談下さい。

詳しくは市企画室
二一九九一一(内二二八)

予防接種 住民検診

住民検診

四月二日～四日

三和・川原・名蔵・嵩田
開南・於茂登

各公民館で行ないます。
四月一日～二日

大里・星野・伊野田・伊原間・明石・久宇良・吉野・平久保・平野

各公民館で行ないます。

DPT予防接種
四月二八日

市民会館中ホール

詳しくは市保健予防課
二一九九一一(内三〇二)

募集

青年海外協力隊員

四月一日～五月三十一日

沖縄県出身者派遣総数二二五人、現在派遣中九人となっています。派遣先はアジア。

法律相談

毎週 水・金曜日(市民相談室)
午前九時三十分～十二時

アフリカ・中近東・中南米・オセアニア地域等です。貴女も開発途上国の国づくりに貢献してみませんか。

説明会・五月一日

午後七時

沖縄県八重山支庁

詳しくは

国際協力事業団

沖縄国際センター

☎098-876-6000

国家公務員採用試験

国家公務員採用試験の受付期間は、次の通りです。

- 国家公務員採用Ⅰ種試験
- 国家公務員採用Ⅱ種試験
- 国税専門官採用試験

(五月六日～一七日)

- 法務教官採用試験
- 労働基準監督採用試験

(四月九日)

詳しくは

人事院沖縄事務所調査課

☎九〇〇那覇市樋川

一一一五一五

☎〇九八八三四一八四〇〇

赤十字社員増強月間

五月は赤十字社員増強月間です。

赤十字の主な活動には、採血事業・災害救護活動・国際救護活動等があります。

これらの赤十字の活動に賛同する方々が社員となり、赤十字社員増強月間を中心に納める資金こそ赤十字の諸活動の支えとなっています。

皆様一人一人のご理解と、ご協力をお願いいたします。

みんなで考えよう

土地問題

毎年4月は『土地月間』

大ホール

4日	太陽の里音楽発表会	太陽の里音楽研究所	6-8601
10日	公明党時局講演会	公明党石垣支部	2-4002
11日	姉妹によるピアノデュオリサイタル	次呂久早苗	3-1767
17日	ピアノ教室の発表会	楽器のムーサイ	3-2472
18日	親子写真会	八重山アルスの会	2-7138
25日	古典音楽発表会	野村流古典音楽保存会	2-2174

中ホール

17日	日本共産党演説会	日本共産党八重山郡委員会	2-5254
28日	予防接種(DPT)	市保健予防課	2-9911

※「市民のひろば」へ情報をお寄せ下さい。

集会・講演会・スポーツ行事等の情報提供をお願いします。

企画室 広報係まで
FAX 3-0782